

留明いま・むかし 第72話

るもいのアイヌの人たちの生活 2

和人はよくメノコを妻に  
しましたが、メノコは実  
によく働くのです。メノコも  
和人になることを喜び、従  
ってアイヌの若者には娘日

福士広志

海のふるさと館学芸係長

……働きたくないものは  
メノコを嫌(かかあ)にせ  
い……アイヌもそうだがメ  
ノコなどはとても単純でし  
す。アイヌは入れ墨をし  
燃やしてその煤(すす)を  
すりこみます。今はもうや  
生活は垣間見てみました。



アイヌは入れ墨をし  
す。マキリで傷つけ、樺を  
驚くほか  
ありませ  
ん。  
アイヌは入れ墨をし  
す。マキリで傷つけ、樺を  
驚くほか  
ありませ  
ん。  
アイヌは入れ墨をし  
す。マキリで傷つけ、樺を  
驚くほか  
ありませ  
ん。

アイヌが死ぬと黒い着物  
で包みガマで織ったキナ  
(ゴザ様のもの)で更に巻  
き一本伸ばしに伸ばしてど  
こへでも埋めたものである  
から、雨などで洗いだされ  
る屍も多かったようです。  
卒塔婆は丸い四尺及至五尺  
の棒で、マキリでこれを削  
りますが、このときは下か  
ら上へと巻

照りといった風でした。メ  
ノコがあまりよく働くの  
で、よくこんなことをいい  
ました。

かも我慢強くて、自分の会  
いたい人のいないときは帰  
るまで丸一日でも待つてい  
るという風でした。時に雪  
の上に座  
が、メノコを飯炊きとし  
て待っ  
ていると  
いうこと  
もありま  
す。その  
人が来る  
とその喜  
びようは  
ないもの  
です。そ  
の間誰が  
なんとい  
っても何  
を聞いて  
も黙って  
おりま  
す。辛抱  
強いには  
驚くほか  
ありませ  
ん。  
アイヌは入れ墨をし  
す。マキリで傷つけ、樺を  
驚くほか  
ありませ  
ん。

# 住民文化祭

幌糠地区  
東部地区

カラオケはまかせて  
持ち前のノドでデュエット



情緒あざやか  
箏曲の音色



東部地区住民文化祭



民謡で幕開け。は～よいっしょ

いきな姿の三度笠。沓掛時次郎



幌糠地区住民文化祭



活気みなぎる藤山小学校児童たちの  
少年太鼓で幕を開けた



未来の玉三郎か  
はたまた……か

寒い季節に  
ハワイアンはいかが



波の声を日本舞踊で披露



姿勢が正しく  
詩吟のノドがひびく